



## 平成26年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 比較.com株式会社

コード番号 2477 URL <http://www.hikaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 哲男

問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー

(氏名) 鳥巢 達也

TEL 03-5447-6690

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	152	8.3	9		9		13	
25年6月期第1四半期	166	4.0	3		3		9	

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 13百万円 ( %) 25年6月期第1四半期 9百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	4.10	
25年6月期第1四半期	2.79	

(注) 平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年6月期第1四半期	1,726		1,659		96.1	512.39
25年6月期	1,797		1,672		93.0	516.49

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 1,659百万円 25年6月期 1,672百万円

(注) 平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期		0.00		0.00	0.00
26年6月期					
26年6月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	316	12.8	26		25		32		9.89
通期	701	3.2	25		24		36		11.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	3,238,200 株	25年6月期	3,238,200 株
期末自己株式数	26年6月期1Q	株	25年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	3,238,200 株	25年6月期1Q	3,238,200 株

(注)平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算報告書のレビュー手続を実施しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する説明 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する説明 .....	2
( 3 ) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
( 継続企業の前提に関する注記 ) .....	7
( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ) .....	7
( セグメント情報等 ) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策、日銀の大規模な金融緩和策、さらに、大型スポーツイベントの開催が決定したことで、日本経済の回復基調が続いている状況であります。

このような状況の中、インターネット利用は広く普及し、インターネットの利用環境も、従来のパソコンでの利用に加え、スマートフォンやタブレット端末を用いたインターネット利用などデバイスの多様化が進んでおり、生活に欠かせないインフラのひとつとなっております。

当社グループにおきましては、消費者の生活に密着したサービスや宿泊施設のニーズに合ったサービスの提供を行うべく、データベースの拡充、システム改善を行い、インターネットユーザー及び宿泊施設の利便性の向上をはかりました。

インターネット広告事業につきましては、当社運営の総合比較サイト『比較.com』にて売上構成比率の高い金融関連サービスのプロモーションの改善、大手検索エンジン対策の強化としてコンテンツ内容の充実をはかること等で、集客の強化を行いました。また、少額投資非課税制度（以下、「NISA」という）口座比較サービスのユーザーインターフェースを見直し、サービスを改善しました。

アプリケーションサービス事業におきましては、ASP型の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』にて宿泊予約サイトとのシステム接続や、新機能の開発を進めました。また、開発及び営業の人員採用を行い、開発力及び営業力の強化をはかりました。

オンライントラベル事業におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する国内宿泊予約サイト『マル得ホテル予約』にて機能改善やデータベース拡充などを進めました。なお、国内宿泊予約サービス事業は平成25年11月1日開催の取締役会にて、株式会社マイナビに対して事業譲渡を行うことを決定しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は152,929千円（前年同期比8.3%減）、営業損失は9,842千円（前年同期は3,981千円の営業損失）、経常損失は9,591千円（前年同期は3,577千円の経常損失）、四半期純損失は13,269千円（前年同期は9,033千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### インターネット広告事業

インターネット広告事業におきましては、当社運営の総合比較サイト『比較.com』にて売上の構成比率の高い金融関連サービスであるインターネット証券及びFX（外国為替証拠金取引）において、リターゲティング広告、行動ターゲティング広告等を行うことで、プロモーションの多様化をはかり、売上増加に努めました。また、注目度の高いNISA口座比較サービスのユーザーインターフェースを見直し、サービスを改善しました。しかし、インターネットメディア間での競争の激化と市場環境の悪化により、売上高は前年同期には及ばず減少いたしました。

この結果、インターネット広告事業の売上高は40,164千円（前年同期比35.4%減）となりました。

#### アプリケーションサービス事業

アプリケーションサービス事業におきましては、開発及び営業の人員採用を行い、『手間いらず.NET』部門の組織強化を行いました。宿泊予約サイトとの連携、宿泊施設のニーズに合ったシステム開発、営業活動の強化を行ったこと、及び、訪日外国人宿泊者の増加、宿泊施設の稼働率アップに伴う部屋単価の上昇等の市場環境の回復を背景に、宿泊施設からの引き合いが増え、契約施設数は増加し、売上高も堅調に推移いたしました。

この結果、アプリケーションサービス事業の売上高は108,651千円（前年同期比11.5%増）となりました。

#### オンライントラベル事業

オンライントラベル事業におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する国内宿泊予約サイト『マル得ホテル予約』にて、データベースの拡充に努めましたが、売上高は前年同期に及ばず低調に推移いたしました。なお、国内宿泊予約サービス事業は平成25年11月1日開催の取締役会にて、株式会社マイナビに対して事業譲渡を行うことを決定しております。

この結果、オンライントラベル事業の売上高は4,113千円（前年同期比42.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は1,726,037千円となり、前連結会計年度末に比べ71,480千円減少いたしました。主な要因は、現預金52,690千円の減少であります。

当第1四半期末の負債は66,821千円となり、前連結会計年度末に比べ58,211千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等50,275千円の減少であります。

当第1四半期末の純資産は1,659,216千円となり、前連結会計年度末に比べ13,269千円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の発生によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年8月14日付の決算短信において発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,562,189	1,509,499
売掛金	85,407	82,163
繰延税金資産	4,890	1,496
その他	10,795	10,909
貸倒引当金	2,773	3,093
流動資産合計	1,660,509	1,600,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,167	2,167
減価償却累計額	2,167	2,167
建物及び構築物(純額)	-	-
その他	12,169	12,169
減価償却累計額	9,284	9,616
その他(純額)	2,885	2,552
有形固定資産合計	2,885	2,552
無形固定資産		
のれん	91,904	80,416
無形固定資産合計	91,904	80,416
投資その他の資産		
繰延税金資産	682	625
その他	43,884	45,351
貸倒引当金	2,348	3,883
投資その他の資産合計	42,218	42,093
固定資産合計	137,008	125,062
資産合計	1,797,517	1,726,037
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	646	385
未払法人税等	51,994	1,718
その他	72,391	64,716
流動負債合計	125,032	66,821
負債合計	125,032	66,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	709,262	709,262
資本剰余金	1,000,262	1,000,262
利益剰余金	37,039	50,308
株主資本合計	1,672,485	1,659,216
純資産合計	1,672,485	1,659,216
負債純資産合計	1,797,517	1,726,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	166,776	152,929
売上原価	18,844	18,254
売上総利益	147,931	134,675
販売費及び一般管理費	151,913	144,517
営業損失( )	3,981	9,842
営業外収益		
受取利息	258	237
為替差益	4	-
還付消費税等	141	-
その他	-	94
営業外収益合計	404	332
営業外費用		
為替差損	-	81
営業外費用合計	-	81
経常損失( )	3,577	9,591
特別利益		
新株予約権戻入益	182	-
特別利益合計	182	-
税金等調整前四半期純損失( )	3,394	9,591
法人税、住民税及び事業税	5,862	227
法人税等調整額	223	3,450
法人税等合計	5,639	3,678
少数株主損益調整前四半期純損失( )	9,033	13,269
四半期純損失( )	9,033	13,269

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	9,033	13,269
四半期包括利益	9,033	13,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,033	13,269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 広告事業	アプリケーション サービス事業	オンライン トラベル事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	62,210	97,424	7,141	166,776	-	166,776
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	62,210	97,424	7,141	166,776	-	166,776
セグメント利益 又は損失( )	13,946	30,441	1,757	14,738	18,719	3,981

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 18,719千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	インターネット 広告事業	アプリケーション サービス事業	オンライン トラベル事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	40,164	108,651	4,113	152,929	-	152,929
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	40,164	108,651	4,113	152,929	-	152,929
セグメント利益 又は損失( )	3,254	18,121	3,864	11,002	20,845	9,842

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 20,845千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。